

# 在来工法の NEXT STAGE

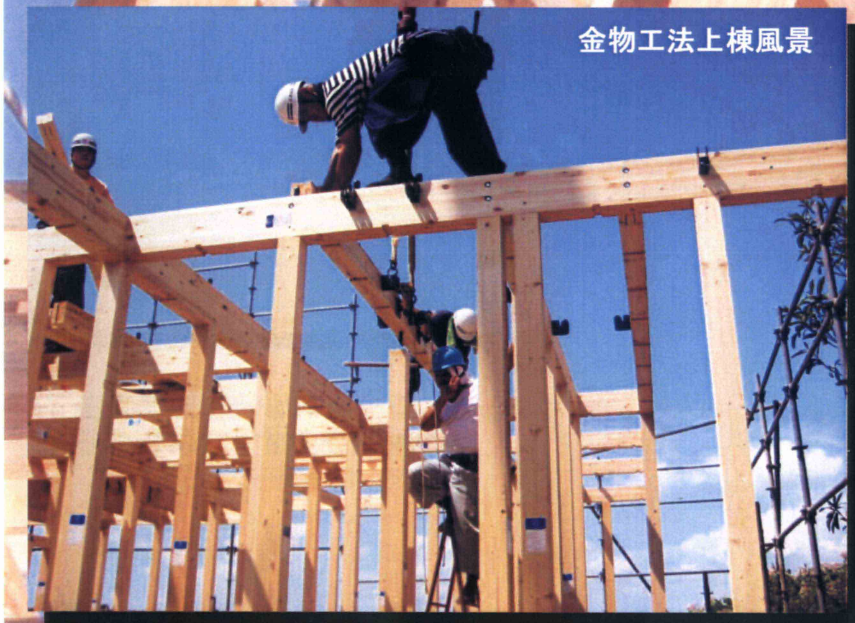
## ■阪神大震災での被害



1995年1月に起こった阪神・淡路大震災では、昭和56年以前に建てられた、木造住宅で大きな被害がありました。

その後、住宅の接合部に特殊な金物を使うことで、住宅の強度を強める、「金物工法」が普及し始めました。

金物工法上棟風景



金物工法サンプル

在来工法での仕口部分に写真の様な金物を取り付けることで、強度を補っています。

★お客様の住宅へも、この様な金物工法に対応可能です！

## ★金物工法のメリット★

●接合強度は、在来工法の

**約1.5倍！！**

木材のつなぎ目部分の断面欠損が極めて小さく、高い耐力を得る事ができる！

●接合部の精度のアップ。

●化粧梁等の現しの構造とした場合にも美しい仕上がり。



金物と木材を接合するスリット部分も弊社金物工場にて、加工が可能